

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。
奈良は未来をひらくまち、青少年は健康で、はつらつと、美しく強い人間になりましょう。
奈良は寛容のまち、みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。
奈良は清潔で平和なまち、旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。
奈良はのびゆくまち、市民の創意で、傳統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No. 284

市民のうごき

(昭和48年11月1日現在)

Table with population statistics: 人口239,844人 (1113), 男 118,496 (520), 女 123,348 (593), 世帯数 73,748 (291)

皇太子ご夫妻 両市の友好にご期待



皇太子殿下ご夫妻に奈良・トレド姉妹協約文の収められた書類をお見せするゴメス・トレド市長 (中央右)トレド市長公室において

奈良の姉妹都市 トレドご訪問

奈良市の願い かなえられる

トレド市民あげて歓迎

皇太子殿下ご夫妻は、十月十二日から同二十一日までスペインを親善訪問されたとき、同十四日トレド市を訪問、アンヘル・ゴメス市長の案内で市内を見学されました。

トレド市は奈良市と姉妹都市縁組みをしているだけあって、同市民の日本に対する関心は強く、皇太子殿下ご夫妻の歓迎会にはゴメス市長をはじめ市幹部・市民代表約二百人が出席、盛大な歓迎をしたといわれます。

皇太子殿下ご夫妻のご訪問に先立ち、鍵田市長はゴメス市長あてに「よろしく」との手紙と電報を送りました。このことをトレド市でお知りになった皇太子さまは、十月三十一日東京の赤坂御苑で開

鍵田市長から 宮内庁へ説明

奈良市が姉妹都市関係を結んでいるトレド市のゴメス市

ゴメス市長の親書

親愛なる鍵田市長殿 拝啓

十月十二日付貴書たしかに受け取りました。貴国皇太子ご夫妻のトレドご訪問に関して、前々からご報告申しあげようと考えておりました。高貴なご夫妻のご訪問は、私どもにとりまして、快い喜びに満ちたものでありました。トレドにおられた間、ずっと感銘を保っておられながら、しかも好意のもてる節らないお人柄のお二人でした。トレド市民は即座に、このお人柄に魅了されてしまい、忘れることができない、この上なく楽しい一日を過ごしたのです。

私は、市長公室において、これから先、たのしみなわが奈良・トレド間姉妹都市関係成立のことをお話しし、また書類をお見せして、ご報告申し上げることができました。殿下ご夫妻は、このことに大いに注目され、とくに私の話に興味を示されました。そして、この友好関係を通して、両市間の文化、商業交歓、訪問者交歓に、より有意義な相互向上が生まれ、さらには日本人とスペイン人がお互いに理解を深めていけるとお考えになり、成功を祈願されました。

貴殿一わが朋友鍵田氏一に對し私が選挙のため、本年中に貴市、奈良、を訪問させて

本号増ページ 全八ページ 4・5・6面「市政についての世論調査」結果 6・7面 市政懇談会抄録

長から、このほど鍵田奈良市長あてに、つぎのような手紙に添えて写真(上掲)が送られてきました。これは皇太子殿下ご夫妻がスペインを親善訪問、トレド市をたずねられた際の模様を伝えたものです。

奈良市では、皇太子殿下ご夫妻のスペイン訪問に先立ち、宮内庁に対して、奈良市がトレド市と姉妹都市関係を締結しているの、皇太子殿下ご夫妻のスペインご訪問の際には、ぜひ同市を訪問されるよう要請してまいりました。これと同時にゴメス市長あてに、皇太子殿下ご夫妻がトレド市を訪問された際にはよろしくと依頼してまいりました。これはゴメス市長からの返事ですが、皇太子殿下ご夫妻歓迎の様子がよくうかがえます。

ただ、ただけなくなったことを謝らさせていただきます。しかし、来年には必ず訪問させていただきます。日程につきましては、来年のことです。また、先にならぬと決定できない実情です。また、貴殿にお会いしてゆつくりお話しできるのを楽しみにしております。まずは右まで。 敬具

十月二十一日 トレド市長 アンヘル・ゴメス

(追伸) 同封の写真は、皇太子ご夫妻に奈良・トレド姉妹都市協約文の収められた書類ファイルをお見せしている時のものです。

晴れの表彰式



【写真】(上) 鍵田市長から表彰状を渡す (右) 喜びをかみしめてパンザイ三唱する被表彰者

広く功績を顕彰

荣誉の七十三氏

奈良市恒例の表彰式が「文化の日」の十一月三日、午前九時から市庁舎別館で行なわれました。会場は菊の香りにつつまれ鍵田市長、辰野市議会副議長ら市関係者のほか、岡澤・橋本瀬川両名誉市民ら市民代表約三百人が出席しました。鍵田市長式辞(別項)のあと一人ひとりに表彰状と記念品を贈りその功績を広く顕彰しました。今回表彰の栄



賞品も、五徳みそ、雨空ふっ飛ばすなごやかさ
＝母子家庭運動会＝
第二回奈良市母子家庭運動会が、十月二十八日午前十時から椿井小学校で開

式のことば(要)

奈良市長 鍵田忠三郎

ふくいくと菊花のおおるこの文化の佳き日に、七十三名のみなさまがたを奈良市政の大きないのちとして表彰させていただきます。これは、私にとりましてまことに光栄であるとともに、この表彰のもつ深い意義を思い感懐にたえないものがあります。

みなさまがたは、その生涯を通じて奈良市のために熱々と自強し、奉仕され、自らを社

会に規範として奈良市民の生き方を身をもって示されているのであります。

私は市長として、このように奈良市のために尊い陰徳を積み下される方々が多くのこの

にも備わった国際文化観光都市のまちづくり」として掲げ、その発展を期しておられるのであります。私は市民の皆さまがたのご協力により、住みよく、生きがいのあるまちを奈良を目指し、日本一火事の少ない平和なまち、日本一の福祉天国のまち、日本一豊かな緑と水のあるまち、早寝早起きの健康なまち、ごころうさん運動の親切なまちを実現することによって、奈良市を「近者説ひ遠者来る」の理想郷にしたいと精進を重ねていこうと努めます。

私は、花咲く姿を見て、皆さんのその陰にひそむ忍辱のご苦労に敬意を表し感謝を申し上げるものであります。

お互いに道は清貧の中にあり、苦難の中にあることを銘記し、相たずさえて豊かな道義の花咲く奈良のまちの実現維持を期し、これの子々孫々に伝えて、奈良のまちの「いのち」を弥栄えに築き上げてまいりたいと存じます。

おわりに、奈良市発展のために一層ご協力を賜わりますことをお願いし、式辞といたします。

耳の不自「きこえの教室」

県下初めて椿井校に開く

県下で初めての難聴児学校「きこえの教室」が市立椿井小学校に開設され、十一月一日開校式が行なわれました。

この学校は耳に障害があつて普通学級では補聴器で授業を受けている子どもや、ほとんど聞こえず、ろう学校に通っている子どもたちに、回復訓練をして社会性を身につけて、普通の子どもと同じように育ててもらおうと開設されたものです。

壁は吸音式で二重窓、床にはカーペットを敷き防音装置がほどこされ、室内気温の調節もとりつけられています。また教育設備としては、児童のヘッドホンと直結した集団補聴訓練器、聴力検査装置、ステレオ式聴能訓練器なども備わっています。

この日入校したのは平城小学校から転校してきた吉森理

された大きなデコレーションケーキには、参加夫婦のうち合計年齢が最も多い市内秋篠梅ヶ丘町小椋義長(82)同久和子(73)夫妻が割れるような拍手のうちにナイフを入れました。小椋夫妻は「二人とも結婚以来病院を知らずに来たことをありがたと思っています」とよろこびを話していました。写真(上)お祝い酒を回す鍵田市長夫妻(下)ケーキにナイフを入れる小椋夫妻

金婚祝う 106組が参加



結婚して五十年、こころめでたく金婚式を迎えた夫婦を招いて祝う金婚祝賀会が「文化の日」の十一月三日午後一時三十分から市庁舎別館で開催されました。この日参加した金婚夫婦は百六組。

鍵田市長は文字夫人とともに

に会場を一巡、「おめでとー」「お元気で」と一組一組に祝酒をつぎ、慶田助役夫妻が鍵田市長、橋本瀬川・岡澤両名誉市民が書いたためでたい色紙に夫婦ばし、木杯、紅白の祝いモチを添えて手渡して回りました。

鍵田市長は「人生で何が一番尊いかというと、結婚してから夫婦がそろって人生の荒波に耐え、しかも仲良く五十年を過ごされたことです。さらに健康に気をつけられ、ダイヤモンド婚のお祝いでできることを願っています」とあいさつ。岡名誉市民は「菊の香や奈良には古き伝ち」

(芭蕉)の句を引きながら「古都奈良の古い伝ちが、老夫婦の姿になってここに現われたように思います。みなさん方は古都奈良の光であります。どうぞご自愛ください」と、つづいて橋本名誉市民は「仏教のことばに『命長き人はこれを南山(種菜)に導く』とあります。長生きされる人は生活が規則正しく、果報を受けておられるということ。健康に気をつけて、ご信仰をもつていただき、一日でも長く生きていただければ南山に導かれるでしょう。夫婦相和し、いっそう健康に留意されて市民の師表

市民相談 市庁舎別館で

- ◆市政相談 市政のことならなんでもどうぞ。平日午前9時～午後4時、土曜日は午前中。
 - ◆心配ごと相談 個人的な悩みごとの相談に応じます。金曜日以外の平日午前9時～午後4時、土曜日は午前中。
 - ◆法律相談 平日午前9時～午後4時に受けつけ、相談カードを渡します。月曜日は午後1時～3時半に弁護士が直接相談に応じます。12月中の担当弁護士(敬称略)。3日高天 弘房 10日村嶋 修三 17日(休日) 24日辻中栄太郎
 - ◆人権相談 毎週金曜日午前9時～午後4時。市庁舎別館と西部公民館で。12月中の担当相談員(敬称略)。
- | | |
|------------------|---------|
| (市庁舎別館) | (西部公民館) |
| 7日 上田 政治 石原 フジ | |
| 14日 狹川 明俊 五嶋 光恵 | |
| 21日 荒木 武男 高石 武一郎 | |
| 28日 赤堀 綾子 植松 宗平 | |
- 10月の相談件数
- | | |
|--------|------------|
| 市政相談 | 9件 (90件) |
| 心配ごと相談 | 90件 (669件) |
| 法律相談 | 44件 (242件) |
| 人権相談 | 26件 (259件) |
- ※()内は今年度の累計

質問とその答え

＝まちの美化＝

奈良市では「日本一美しく清掃されたまちづくり」をめざし「まちを美しくする運動」を進めています。あなたはご存じですか。

- 1.知っている 63.5%
- 2.知らない 35.3%
- 3.こたえない 1.2%
- 計 100.0%

あなたは、この運動を今後とも進めた方がよいと思いませんか。

- 1.大いに推進すべきだ 68.6%
- 2.推進すべきだ 27.2%
- 3.べつに推進の必要はない 1.8%
- 4.どちらともいえない 1.4%
- 5.わからない 0.3%
- 6.こたえない 0.7%
- 計 100.0%

まちを美しくするためには、市の清掃作業のほかに、どうすればよいと思いませんか。(3つまでの複数回答)

- 1.公園などにゴミ箱をふやす 47.7% (16.6%)
- 2.花づくり運動 33.3 (11.6)
- 3.街頭広告の規制と取締まり 41.0 (14.3)
- 4.不法投棄パトロールの強化 45.4 (15.8)
- 5.ゴミの不法投棄取締り条例を制定し重い罰則を設ける 42.9 (15.0)
- 6.過大包装をなくす運動の展開 34.5 (12.0)
- 7.ゴミを出さない・つぐらない市民運動の展開 35.0 (12.2)
- 8.その他 4.9 (1.7)
- 9.こたえない 2.3 (0.8)
- 計 287.0%(100.0%)

＝自治会＝

お宅は、町内の自治会にはいっておられますか。

- 1.入っている 93.0%
- 2.入っていない 4.5%
- 3.自治会がない 1.5%
- 4.こたえない 1.0%
- 計 100.0%

(前問で「入っている」と答えた人に)自治会活動にどの程度参加されていますか。

- 1.積極的に参加している 23.3%
- 2.どうか参加している 57.5%
- 3.どちらかといえば無関心 15.4%
- 4.まったく無関心 3.3%
- 5.こたえない 0.5%
- 計 100.0%

あなたは、自治会の組織は必要だと思いませんか。

- 1.必要だ 74.1%

- 2.あってもなくてもよい 17.1%
- 3.必要でない 2.9%
- 4.わからない 3.9%
- 5.こたえない 2.0%
- 計 100.0%

一般的にいって、自治会組織はどんな活動に重点をおけばよいと思いませんか。(複数回答)

- 1.地域内の親和・葬祭・社交・精神的なまとまりのための活動 54.3% (21.8%)
- 2.防火・防犯・保健衛生の活動 47.7 (19.1)
- 3.青少年の健全育成・敬老・福祉の活動 30.3 (12.1)
- 4.市からの連絡・事務などへ協力 47.1 (18.9)
- 5.地域内の問題の直接解決、市への色々な要求 64.9 (26.0)
- 6.その他 1.0 (0.4)
- 7.こたえない 4.3 (1.7)
- 計 249.6%(100.0%)

＝広報・公聴＝

市では「市民だより」をはじめ、いろいろな方法で市政を市民のみなさんに伝える努力をしています。あなたは、市政をもっとよく知るために、市がどんな方法をとることが望ましいとお考えになりますか。(3つまでの複数回答)

- 1.市民だより 88.9% (31.5%)
- 2.市政懇談会 24.0 (8.5)
- 3.新聞 32.1 (11.4)
- 4.テレビ・ラジオ 17.1 (6.1)
- 5.市の広報板 17.1 (6.1)
- 6.広報車の巡回 22.4 (7.9)
- 7.パンフレットなどの各種刊行物 31.8 (11.2)
- 8.町内の回覧板 45.9 (16.2)
- 9.その他 1.5 (0.5)
- 10.こたえない 1.8 (0.6)
- 計 282.6%(100.0%)

よりよい市政の実現に、市では、みなさんの生の声をきく(公聴)のために、いろいろな方法をとっていますが、あなたはつぎの表(省略)のうち、どれがよいと思われますか。(3つ選択、複数回答)

- 1.市政懇談会の地区を狭くする 30.9% (11.1%)
- 2.市民だより「声」欄を設ける 51.9 (18.8)
- 3.市内各所に「市民の声」箱を設置 40.0 (14.4)
- 4.世論調査の回数をふやす 28.4 (10.2)
- 5.市政モニター制度を設ける 33.1 (11.9)
- 6.市長に直接手紙を書く 6.6 (2.4)
- 7.市民相談室の利用 30.3 (10.9)
- 8.公聴車の巡回 18.5 (6.7)
- 9.電話サービスセンターの利用 34.3 (12.3)
- 10.その他 0.7 (0.2)
- 11.こたえない 3.0 (1.1)
- 計 277.7%(100.0%)

評価 姉妹都市の相手市としては慶州市が一ばんよく知られて66.1%がその名を答え、国内の両市はぐんと落ちて小浜市33.1%、郡山市11.1%と低位、それに対してトンド市は20.5%と郡山市を抜いていました。その知っている度合いに男女差は見られません。

「知らない」が62.2%、「知らない」が37.0%で、女性より男性、若い人より高年齢層がよく知っており、西郡住宅地域(51.7%)に対して旧市内(70.0%)が示すように、永く住みついた人は周知度が高いのはうなずかれます。

奈良市が行政運営の柱の一つとしてかかげている「すべて市民本位」の市政を推し進めるためには、市民の声を的確にとらえて、これを行政に反映していかねばなりません。そのため、市では市政懇談会をはじめ、市民相談室のほか四十二年度から毎年「奈良市政についての世論調査」を実施するなど、あらゆる機会と方法で市民の声を聴いています。今年度も七月から八月にかけて、全市域にわたる世論調査を行いました。市民の市政に対する関心・要望・意見などを聴き

世論調査は、科学的方法によるサンプル調査で、ランダムに選ばれた少数のサンプルを調べることによって、市民全体の意識を知ろうとするもので、今回はとくに国際文化観光都市としての奈良市のもつ文化・都市外交、また自治会、中央武道館などについても調べました。全調査八項目・二十八問で、以下はそのあらましです。

25.6%とトップの答えを得ました。これから見ても、奈良市民がいかに奈良の持つすぐれた自然環境を、これ以上壊してはならないと強く願っているかが分ります。つづいて、福祉天国づく

「住みよい」を維持 過半数

自然環境保全へ欲求

生活環境

奈良市では「日本一暮らしよいまち」をめざして市政を進めています。市民は「住みよい」と思っているかどうか、最初にきいてみました。

「住みよい」と答えた人が54.3%と過半数を示し、「住みよいとは思わぬ」が12.8%、「どちらともいえない」が31.2%とあって、44%が必ずしも居住環境に満足しているとはいえないことがわかりました。

生活環境の評価 奈良市では「日本一暮らしよいまち」をめざして市政を進めています。市民は「住みよい」と思っているかどうか、最初にきいてみました。

「住みよい」と答えた人が54.3%と過半数を示し、「住みよいとは思わぬ」が12.8%、「どちらともいえない」が31.2%とあって、44%が必ずしも居住環境に満足しているとはいえないことがわかりました。

奈良の文化

市文化に誇り 89.1%

市重点施策

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。

慶州がトップ

姉妹都市の周知度

都市外交

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。

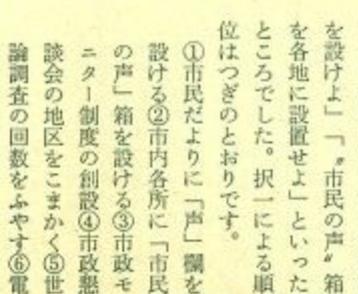
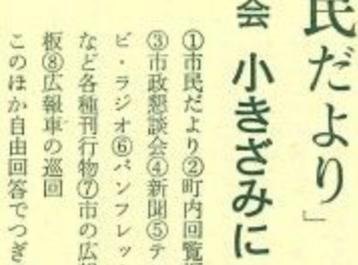
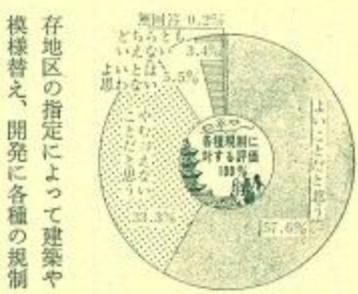
公聴にも「市民だより」

市政懇談会 小きさみに

広報公聴

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。

奈良市は国内で福井県小浜市、福島県郡山市と、国外では韓国慶州・スペインのトレド両市とそれぞれ姉妹都市提携しています。



質問とその答え

—生活環境—

◇あなたは、今住んでいる奈良市を「住みよいまち」とお考えですか。

- 1. 住みよい 54.3%
- 2. 住みよいとは思わない 12.8
- 3. どちらともいえない 31.2
- 4. わからない 0.5
- 5. こたえない 1.2
- 計 100.0%

◇最近、市の施策として、特によくなったと思われることを挙げてください。(複数回答)

- 1. ゴミ・し尿の収集 49.6% (22.2%)
- 2. 交通安全対策 12.6 (5.6)
- 3. 上水道対策 23.0 (10.2)
- 4. 社会福祉 21.3 (9.5)
- 5. 下水道・排水設備 9.6 (4.3)
- 6. 道路の舗装・補修 33.8 (15.0)
- 7. 児童公園など子どもの遊び場 3.9 (1.7)
- 8. 幼稚園・学校などの施設 12.1 (5.4)
- 9. 公民館・スポーツの施設 30.4 (13.4)
- 10. 防火・防災対策 13.6 (6.1)
- 11. その他 2.2 (1.0)
- 12. わからない 8.4 (3.7)
- 13. こたえない 4.2 (1.9)
- 計 224.7%(100.0%)

◇市では、奈良市を日本一住みよいまちにするため、努力しております。あなたは、そのために市政にどういふことを望まれますか。(3つまでの複数回答)

- 1. ゴミ処理 32.1% (11.4%)
- 2. 交通安全対策 45.7 (16.2)
- 3. 上水道対策 12.6 (4.5)
- 4. 社会福祉対策 48.6 (17.3)
- 5. 自然保護対策 52.6 (18.7)
- 6. 下水道・排水 38.5 (13.7)
- 7. 幼児教育対策 13.1 (4.7)
- 8. 生涯教育対策 11.8 (4.2)
- 9. スポーツ振興 6.2 (2.2)
- 10. 防火・防災 10.1 (3.5)
- 11. その他 7.1 (2.5)
- 12. わからない 1.0 (0.4)
- 13. こたえない 1.8 (0.7)
- 計 281.2%(100.0%)

◇その中で、もっとも必要だとお考えになるものを1つだけあげてください。

- 1. ゴミ処理 5.0%
- 2. 交通安全対策 10.9
- 3. 上水道対策 2.0
- 4. 社会福祉対策 17.3
- 5. 自然保護対策 25.6
- 6. 下水道・排水 12.8
- 7. 幼児教育対策 2.5
- 8. 生涯教育対策 1.8
- 9. スポーツ振興 0.8
- 10. 防火・防災 1.5
- 11. その他 2.7
- 12. わからない 15.3
- 13. こたえない 1.8
- 計 100.0%

—奈良市のもつ文化—

◇奈良市には、数々の文化財がありますが、このような文化財をもつ奈良市を、あなたはどう思われますか。

- 1. 非常に誇りに思う 45.6%
- 2. 誇りに思う 43.5

- 3. あまり誇りに思わない 3.4
- 4. なんとも思わない 4.5
- 5. かえって邪魔になると思う 2.2
- 6. こたえない 0.8
- 計 100.0%

◇文化財をもつ奈良市は、古都保存法などの法律により、建築規制など各種の規制をうけています。こうした奈良市の実情をあなたはどうか思われますか。

- 1. よいことだと思う 57.6%
- 2. よい・悪いは別として、やむをえないことだと思う 5.5
- 3. よいとは思わない 33.3
- 4. どちらともいえない 3.4
- 5. こたえない 0.2
- 計 100.0%

◇(前回で「よいことだ」「やむをえない」と答えた人に)それはどういふ理由からですか。

- 1. 歴史を守る使命がある 41.5%
- 2. 現在の奈良市の環境をこわしたくないから 56.1
- 3. その他 1.1
- 4. こたえない 1.3
- 計 100.0%

◇(同じく「よいとは思わない」と答えた人に)それはどういふ理由からですか。

- 1. 生活面で制約を受けるのがいやだから 63.6%
- 2. まちに活気がなくなるから 18.2
- 3. こたえない 18.2
- 計 100.0%

◇奈良市は、昭和25年に国際文化観光都市に指定されましたが、あなたは、このことをご存じですか。

- 1. 知っている 62.2%
- 2. 知らない 37.0
- 3. こたえない 0.8
- 計 100.0%

◇市は、国際文化観光都市にふさわしいまちづくりを進めていますが奈良市の文化事業はどうあるべきだと思いませんか。(複数回答)

- 1. 郷土芸能(古典芸能)の保存と育成 39.5% (20.4%)
- 2. 市が文化財研究所・博物館を設けて公開する 56.0 (28.6)
- 3. 市民芸術祭を催す 16.1 (8.3)
- 4. 文化財の認識を深めるための講座を開く 28.2 (14.4)
- 5. 文化財を見る会をつくる 26.2 (13.4)
- 6. 奈良市史を編さんする 23.4 (11.9)
- 7. その他 2.5 (1.3)
- 8. こたえない 3.4 (1.7)
- 計 195.3%(100.0%)

—奈良市の都市外交—

◇奈良市は、国内・国外の都市と姉妹都市提携をおこなっていますが、あなたは、その相手都市をご存じですか。その都市の名をつぎの表(省略)の中から挙げてください。(複数回答)

- 1. 韓国の慶州市 66.1% (43.0%)
- 2. スペインのトレド市 19.2 (12.5)
- 3. 福井県小浜市 33.1 (21.6)
- 4. 福島県郡山市 11.1 (7.2)
- 5. 全く知らない 20.5 (13.3)
- 6. こたえない 3.7 (2.4)
- 計 153.7%(100.0%)

◇奈良市は、今後とも国の内外で姉妹都市提携することが予想されますが、あなたはこれをどう思われますか。

- 1. よいことだと思う 38.9%
- 2. 悪いとは思わない 25.9
- 3. 別に何とも思わない 22.0
- 4. 必要とは思わない 11.4
- 5. こたえない 1.8
- 計 100.0%

◇姉妹都市とのおつきあいを、今後どういふ形で進めてゆけばよいと思われますか。(複数回答)

- 1. 学校や幼稚園同士で友好関係を結ぶ 33.4% (15.5%)
- 2. 市民代表訪問制度をつくる 20.5 (9.5)
- 3. 毎年定期的に芸能を含めた交歓会を催す 31.9 (14.8)
- 4. スポーツ親善試合を催す 27.7 (12.8)
- 5. 観光・物産展を交互に催す 40.8 (19.0)
- 6. 姉妹都市会館をつくる 8.4 (3.9)
- 7. 民族学・歴史学など学術交流をはかる 36.3 (16.8)
- 8. その他 7.2 (3.3)
- 9. こたえない 9.6 (4.4)
- 計 215.8%(100.0%)

—中央武道館の活用—

◇市では、48年度から2カ年計画で中央体育館の隣に中央武道館を建設することになりました。これは次代を背負う青少年の心身の鍛錬の場として、またすべての市民の楽しい武道の場となるものです。この武道館が完成した場合、お宅(あなたを含めて)では利用したいと思いませんか。

- 1. おおいに利用したい 7.4%
- 2. 利用したい 17.7
- 3. いまのところわからない 51.4
- 4. 利用しない 22.0
- 5. こたえない 1.5
- 計 100.0%

◇あなたは剣道や柔道、なぎなたなどの武道に関心がありますか。

- 1. 非常に関心がある 6.2%
- 2. 関心がある 29.4
- 3. あまり関心がない 45.9
- 4. まったく関心がない 17.7
- 5. こたえない 0.8
- 計 100.0%

◇ご家族の方で、剣道や柔道、なぎなたなどの武道に関心をおもちの方はいらっしゃいますか。

- 1. 子どもが関心をもつ 16.0%
- 2. 夫または妻が関心をもつ 13.9
- 3. その他の者が関心をもつ 8.4
- 4. だれも関心をもたない 57.3
- 5. こたえない 4.4
- 計 100.0%

市民のこゝろ

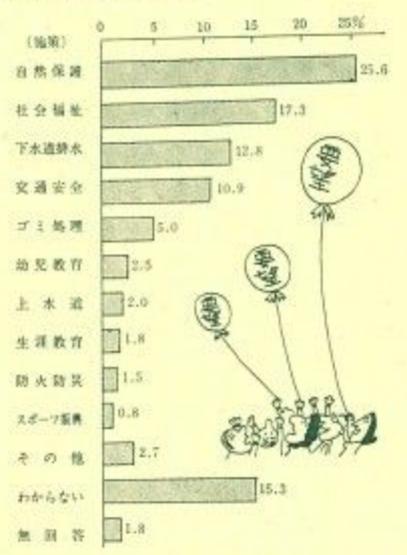
市政についての

調査方法

この調査は調査対象となった人に調査票を郵送して回収する郵送書面調査法によって行ないました。その調査時期は今年七月十九日～八月六日としました。

「住みよい」と答えた人の率は昭和四十四年度以来の調査の最低で、同四十五年度(55.1%)に次ぐもの、最も低いものでした。これは「住みよい」と答えた人の割合が、昭和四十四年度(54.3%)から、同四十五年度(55.1%)に少し増えたものの、昭和四十六年度(54.3%)に減少したものと見られます。

(要望される最重要施策)



市重点施策のほとんどが、高く評価されています。そこで、あらためて「今後市に要望する施策」をたずねてみました。その結果は、自然保護に対する施策がトップで、全回答数の18.7%を占め、さらに「それらの施策のうち最も重要なもの」と重ねて念を押したのに対して、

「なんとも思わない」人が4.5%で、誇りに感じない人は3.4%、逆に「じゃまになる」との排撃派がわずかながら2.2%ありました。性別では男性の88.3%が誇りに感じ、女性の90.2%が誇りに感じ、年齢別では四十代の50.0%をピークに上下ほとんど同じ傾

に「なんとも思わない」人が4.5%で、誇りに感じない人は3.4%、逆に「じゃまになる」との排撃派がわずかながら2.2%ありました。性別では男性の88.3%が誇りに感じ、女性の90.2%が誇りに感じ、年齢別では四十代の50.0%をピークに上下ほとんど同じ傾

定した八つの方法の中からまず三つを選んでもらい、さらにそのうち最もよいのものを一つあげてもらいました。この両者の順位はほとんど変わらず、最も要望の強かったのは「市民だより」となっています。「いちばんよい」として挙げられた項目の順位はつぎのようになります。

●広報の方法 市の方で設定した八つの方法の中からまず三つを選んでもらい、さらにそのうち最もよいのものを一つあげてもらいました。この両者の順位はほとんど変わらず、最も要望の強かったのは「市民だより」となっています。「いちばんよい」として挙げられた項目の順位はつぎのようになります。

地域の分類

調査結果の分析の必要上、調査は全市域を四つに分類して行ないました。これは地域の特性、住民の職業、生活環境など性格によって分けたもので、地域住民の意識の共通性を分析するのに役立つもので、つぎのようになっています。地域間のサンプルの比重は変わりません。

- 【旧市内】 椿井・飛鳥・済美・鼓阪・佐保・大宮の各地区
- 【西部住宅地域】 都跡・伏見・富雄北・富雄南各地区の一部と学園南・学園北両地区
- 【南西部農業地域】 都跡・伏見・富雄北・富雄南各校区の一部と東市・大安寺・平城・帯解・明治・辰市・あやめ池の各地区
- 【東部農林地域】 精華・田原・大柳生・柳生・東里・狭川の各地区

板(8)広報車の巡回 このほか自由回答でつぎのようなのが見られます。「市民だより」の紙幅をふやす(9)同じく連載読み物(奈良の歴史、文化遺産など)の掲載(10)同じく「婦人の声」欄の設置(11)同じく市議会議員の活動状況の掲載(12)奈良テレビ(UHF)の利用(13)広報車の増設(14)「市民だより」の早期配布(15)公聴の方法 広報と同じ(16)地区別公聴会の開催(17)世論調査の回数増加

市民の側から 市政懇談会

市役所の側から

抄録

4

浄化槽新設へ

田原中学校のプール用水

田原地区

八月九日田原公民館で、地もともから五十三人と辰巳実市議員が出席、市側からは鎌田市長、慶田助役、松田消防長、森井教育長、中本建設局長、川村同局長、長、西田清博、玉川総務、滝川経済各部長、中西自治振興課長ほか。

物として取りあげているので、国の補助金の見通しがつき次第建てかえる。水間幼稚園も改築を要する建物として国の認定を受けているが、国の補助金のワケが限られているので、まずその獲得に努力する。

政に協力願っており感謝している。老人クラブの運動には市もできるだけ援助したいと思っている。ゴミ焼却については消防本部と話し合ったところ、ドラムカンより穴を掘って燃やす方が安全だし、前後の処理も手堅だろうということになった。市としては、みなさんの美化運動の展開に少しでもお役に立つよう施策したいと考えている。

奈良市では、全市約七万三千世帯のうち東部山間地域を除く指定清掃地区約六万三千二百五十世帯について市清掃事務所がゴミの収集にあたり、公団住宅など約九千三百世帯は公団が委託した業者に収集されている。また、矢野原町、袖ノ川町、日笠町、水間町の道路改良工事を促進してはしむ。②通行量の多い南田原―長谷線など平地幹線市道の舗装を早急に実施してはしむ。同時に地もとも負担による平地路線舗装に対する助成、市道急坂路舗装資材の増給をねがう。

①南田原の分は調査済みで四・五割幅で延長五百メートル、矢野原分は測量中で四・五割幅、延長百二十メートル、十月ごろ着工、袖ノ川分は調査済みで、日笠町、水間町分はよく調査し、いずれも早く実施できるように計画する。②これら路線は東部山間地区舗装五カ年計画に組み入れておきます。本年度より継続事業として実施する。(東部山間地区舗装五カ年計画については柳生地区「道路整備」の項を参照)。

以下七面へつづく

4・5面「市政についての世論調査」のつづき

美化運動支持 95.8%

まちなみ美化

奈良市では、全市約七万三千世帯のうち東部山間地域を除く指定清掃地区約六万三千二百五十世帯について市清掃事務所がゴミの収集にあたり、公団住宅など約九千三百世帯は公団が委託した業者に収集されている。また、矢野原町、袖ノ川町、日笠町、水間町の道路改良工事を促進してはしむ。②通行量の多い南田原―長谷線など平地幹線市道の舗装を早急に実施してはしむ。同時に地もとも負担による平地路線舗装に対する助成、市道急坂路舗装資材の増給をねがう。

「まちなみ美化」は、まちを美しくする運動として、どのような意識をもって進めるか、またこうした運動を今後推進する方法を重点にきいてみました。

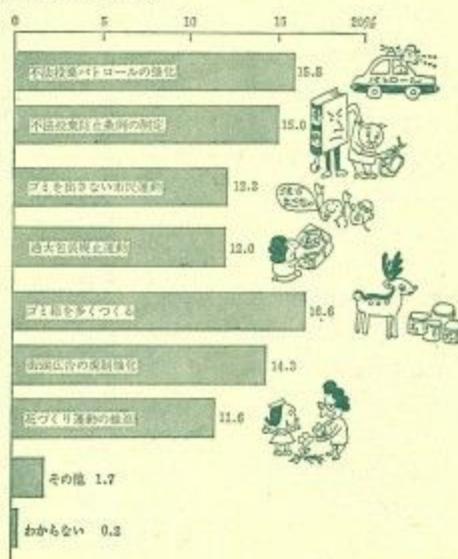
「まちなみ美化に対する意識」は今年五月から始めたもので、「まちなみ美化」は35.5%、「知らない」は63.5%、「知らない」は35.5%、三人に二人近くが知っており、調査時までのわずかな期間に、これだけの周知度が現れたのは驚異的といえます。それだけに市民の関心度は高いといえます。

男性(59.0%)より女性(69.9%)の方が高いのは当然で、それも三十代以上の女性に強い傾向です。このような関心の度合いとは別に、この運動を市民運動として進めることへの賛否については、積極・消極を合

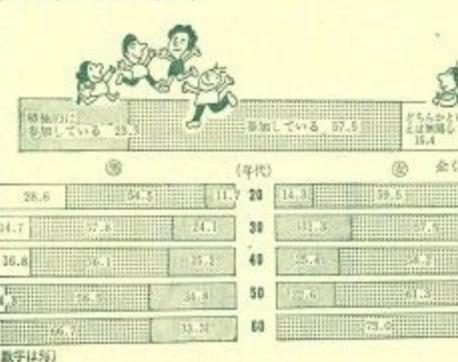
から三つまで選んでもらいました。その結果は、公園などにゴミ箱を多く設置せよというのが最も多く、観光都市奈良の側面を大きくクローズアップしました。つづいてゴミが積極論者であることは心強いといわねばなりません。性別・年齢別・地域別でも大差はなく、全市平均して高い世論であることを示しています。ただ旧市内と西部住宅地域で他の地域より消極的だったのが特徴的です。

運動の推進施策 市が行なっている清掃業務以外に七つの具体策を示して、その中

【美化運動推進対策】



【自治会活動参加の程度】



「自治会は必要」74.1%

八割が自治会活動に参加

自治会

奈良市には町内を単位とする自治会が現在六百五十七あり、地域社会活動の母体として、とくに情報化が進む中に立って、自治会は非常に重要な機能を持つようになり、自治会への加入と活動参加を取りあげてみました。

奈良市内の世帯でどの程度が自治会に加入しているかを調べましたが、「加入」と答えた人が全体の93.0%と高率ながら、「加入していない」人が4.5%あって全世帯加入というわけにはい

「自治会の必要性」を問うと、全体の74.1%が「必要でない」とする人はわずかに2.9%。しかし一方では「あってもなくてもよい」という無関心層が17.1%あって、自治会活動に無関心な層とはほぼ同率である点は注目されます。

「自治会の必要性」を問うと、全体の74.1%が「必要でない」とする人はわずかに2.9%。しかし一方では「あってもなくてもよい」という無関心層が17.1%あって、自治会活動に無関心な層とはほぼ同率である点は注目されます。

四人に一人が利用

中央武道館の建設待つ

中央武道館

今年度から二カ年計画で市が建設する武道館について、市民にどの程度利用しようとするという意向があるか、また一般的に剣道・柔道・なぎなたなど武道にどの程度の関心があるかを調べてみました。

「利用意向の度合い」これは利用するかどうか「わか

は調査対象個人ではなく、その家族を構成する人の意向として聞いてみました。その結果は、本人では35.6%が何ほどの関心をもっており、家族では38.3%と関心度があり、無関心組は本人63.6%に対し家族57.3%と逆になっています。本人の関心度では男(42.4%)が女(26.1%)より断然多く、家族では子ども(16.0%)が意外に関心が高いことが目を引きます。

今年度から二カ年計画で市が建設する武道館について、市民にどの程度利用しようとするという意向があるか、また一般的に剣道・柔道・なぎなたなど武道にどの程度の関心があるかを調べてみました。

その必要性を認める度合いは男(73.6%)と女(74.8%)の間にほとんど差がなく、高齢者は必要性を強く感じています。次は「地域内の親和・葬祭・社交や精神的なまとまりのための活動」つまり人間関係を円滑にするためのはたらきが21.8%、「防火・防犯・保健衛生などの活動」と地域防衛のはたらき19.1%で、「市からの連絡・事務などに対する協力」(18.9%)は第四番となっています。市に対する協力よりは市への要求が優先するといえるわけですが、そのほか「青少年の健全育成・敬老・福祉の活動」(12.1%)などとなっています。

自治会の活動内容を性別に見ると、男性は「市への要求活動」に重きを置いているのに対し、女性は「人間関係の円滑化」を重く見、年齢別では四十代以下の若い層が要求活動、五十代以上は人間関係をそれぞれトップに置いています。また、地域別に見ると、その考え方の順位が

【旧市内】①人間関係②市への要求活動③市への協力
【西部・南西部】①市への要求活動②防火・防犯・保健衛生③人間関係
【東部】①市への要求活動②人間関係③市への協力

6面「市政懇談会」田原地区のつづき

目に余る不法投棄

警察と協力、徹底防止

ゴミの不法投棄 県市道や林道付近へ遠くから乗りつけて、ゴミを不法投棄していくものが絶えない。徹底的に取締ってほしい。

校舎・園舎は今のままで

プレハブ校舎は解消へ

明治地区

八月十七日、神殿公民館で、地もともから四十五人が出席。市側からは鍵田市長、慶田助役、森井教育長、紺家水道事業管理者、松田消防長、高瀬公室長、西田清掃、玉川企画、井上総務、和田税務、滝川経済各部長、川村建設局長、藤川社会福祉事務所長、中西自治振興課長ほか。

明治小学校の学級規模は、推計によると来年度以後も十二学級がつづくと思われている。ことし増築した三教室で十分収容できると思う。幼稚園もことし同様四教室でいけると予想している。プレハブ教室の解消は増築と切り離して考えたい。

ない、きびしい行政指導をくり返している。もちろん奈良警察署防犯課と緊密な協力体制をとっているの

この地区では七月六、七、九の三日間、約二、三にわたって投棄ゴミの撤収作業を行ない、建築廃材など四十五トンを出した。県道関係は県に対して積極的に対処してもらおうと要請してある。地もともで不法投棄を発見されたときは、車のナンバーや会社名、事業所

合、建築費の四分の一以内(最高三十万円)を補助する。申請書類は社会教育課に備えてある。

学校の前道路の大型車規制とカーブミラーの設置をのぞむ。都南中学通学路の安全対策について去る五月二十四日奈良警察署・学校長・青年会長らと現場診断を行ない、つぎのように実施することになった。

名を清美課へお知らせがない。災害復旧工事 昨年度分の災害復旧工事を促進してほしい。

昨年度この地区の災害復旧は道路で十六カ所、河川で九カ所(うち公共災害七カ所、単独災害十八カ所)となつていて、単独災害分はすべて完了し、いま公共災害分二カ所を復旧工事中で、残り五カ所は今年度中に実施する。

「みどりの家」の設備・施設を充実して、入院して教育・治療を受けられるよう、総合的なセンターにしてほしい。

大型車の規制は午前七時三十分～同九時の時間規制(通行禁止)を秋の交通安全全運動の初日九月二十一日から実施するよう県公安委員会に要望する。▼自転車通学の安全 学校の東西出入口二カ所にカーブミラーを設置する。▼三差路の幅 旧上街道と交差する三差路わきの用水溝を暗渠化する。

開発公害の排除

燃焼炉は来春までに撤去

開発公害の防止 県が認可した宅地造成事業のダンプカーなど工事用車両が危険なもので規制し、雨水の処理を十分にするよう監督を強化してもらいたい。

中学校区の変更

は将来の問題に

大安寺地区

九月七日、大安寺小学校で、地もともから五十人と日下博・森本一男両市議会議員(議席順)が出席。市側は鍵田市長、森井教育長、松田消防長、紺家水道事業管理者、中本建設局長、川村局長、藤川社会福祉事務所長、西田清掃、井上総務、玉川企画、堀川民生、滝川経済、和田税務各部長、中西自治振興課長ほか。

南部出張所の設置 窓口事務で、一本本庁へ出向くのは不便なので、市の南部出張所を新設してもら

して万全を期していく。平成開発の造成工事にもなる。企業側では、遅くとも来春までには今の焼却炉を撤去する計画だという。

燃焼炉の撤去 南神殿町の隣りから排煙が流れてきて迷惑している。排除してほしい。

道路は実情調査をしたらうえ継続事業として実施する。

①大安寺踏切は警報機付の国鉄関西線踏切に遮断(しやだん)機をとりつけ、奈良・郡山両駅の間の新駅を設置するようはからってほしい。

撤去する計画だといふ。今年度内に人家連たん地区を舗装する。なお明治地区の未舗装路は十四路線五・六・六・あがが、昨年度四路線二・三・を舗装、今年度は五路線一・五・を、来年度に五路線一・八・を計画している。

氷路・河川 ①北神殿から東の市道まで約四百坪の河川、南神殿から東、さらに北へ約八百坪の河川のそれぞれ改修。②改修済みの久保川下流地蔵院川への合流点と、地蔵院川底の各改修。③永井町

道路は実情調査をしたらうえ継続事業として実施する。

①大安寺踏切は警報機付の国鉄関西線踏切に遮断(しやだん)機をとりつけ、奈良・郡山両駅の間の新駅を設置するようはからってほしい。

入口を流れる久保川床の土砂の除去と汚水管の移設。

市街化区域への変更 柏木町を市街化調整区域から市街化区域に変更をうたいたい。

市街化区域への変更 柏木町を市街化調整区域から市街化区域に変更をうたいたい。

おことわり 紙面の都合で、開催順序によらず「大安寺地区」をさきに掲載しました。

